

九州ネット

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

佐賀県開催 <むつごろうラウンド>  H29.5.27(土) 佐賀大学教育学部附属小学校 

日に日に暑さが増してくる中、今回の「むつごろうラウンド」に県内から13名、県外から18名、計31名のたくさんの先生方に参加していただきました。初めて参加させていただきましたが、温かい雰囲気の中、実技を交えながら有意義な時間を過ごすことができました。

1 学習指導要領の改訂

はじめに、桐蔭横浜大学の佐藤豊先生から、イギリスから帰国直後とは思えないパワフルな語りで、パワーポイント、ディスカッションを交えながらの情報提供をしていただきました。キーワードは「グローバル化に対応した教育の変化」。学習指導要領の改訂を受けて、これまでの改訂の流れと体育の授業を通して育てるべき児童生徒像についてお話していただきました。現在は『創造性思考的モデル』、いわゆる「新しいことを生み出していく力」が求められているというところで、改訂の内容について詳しくお話していただきました。その中でも、『スポーツを「する」だけではなく、「みる」「支える」「知る」という広い捉え方をすることで、スポーツを通じた社会とのかかわりが広がっていく人を育てましよう』という言葉が印象に残りました。生涯を通して、楽しく運動とかかわることができる手段を、より広い視点から子どもたちに伝えていきたいものだ実感しました。



2 幼児期の運動指導の在り方について



伊万里市大坪小学校の田代先生から「幼児期の運動指導」について説明していただきました。新たに幼稚園教育要領に入ってきた「多様な動き」という文言に焦点を当て、「発達段階に即した運動遊びの展開」と「多様な動きを引き出す環境の工夫」について、実技を交えながらの楽しい内容でした。田代先生が繰り返しおっしゃっていた、「教師側が目指す幼児像を明確にしてもっておくこと」、また、環境の工夫では、「子どもたちに自己決定を保障するため、多様な選択肢のある場を設定すること」が大切であることも教えていただきました。

3 「体づくり運動」における学習指導の在り方

佐賀市勸興小学校の古城先生からは、「体づくり運動」について説明していただきました。「体づくり運動」の基本的な考え方を示していただいた上で、様々な運動の紹介があり、自然とみんなが笑顔になるような、まさに「心と体を一体とした」活動でした。その中でも、古城先生は「条件を変える」ことをキーワードに、動きの工夫を引き出す言葉かけ（姿勢、方向、リズム、人数など）をたくさんされていました。さらに、問いかける、引き出す、広げる、きちんと価値付けることで、子どもと教師が評価規準を共通理解することが大切だということを伝えていただきました。



4 情報交換会

少ない人数ではありましたが、体育・保健体育の話や佐藤先生の大学時代の話等で盛り上がり、楽しいひとときとなりました。最後はおなじみの「パフェ」で終了！来年度も楽しみにしています。

最後になりますが、御多忙中、御参加いただきました先生方、本当にありがとうございました。

(報告：鹿島市立明倫小学校 松林 諒)